

マップ等制作による来訪者の滞在時間の増加及び回遊性を高める事業

取組に至る背景・事業の目的

- 池田町には、信州のブランドイメージのひとつである「温泉」がなく、宿泊施設も少ない。また、鉄道の駅もないことから、町民に“観光地”としての意識・意欲が低く、観光客の増加策と併せて町内の観光推進への意識づけが重要課題となっている。そこで池田町では、地域住民が主体となり自然・文化・産業など地域の資源を活かし、住む者が町に誇りを持ち、来訪者が満足し幾度も訪れる「まち」の実現を目標に「観光まちづくり」を提唱し、様々な取組みを実践している。
- その一環として、池田町観光協会では、インターネットを活用し、豊かな自然のPR・情報発信を行い、徐々に町内の名所が脚光を浴びるようになった。また、各種イベント事業など誘客面では、着実な成果をあげているが、いまだ町内一体となった面的な取組みには至っていない。
- そこで、これまでイベントなどで行った観光客アンケートに寄せられた回答を基に、来訪者が見て楽しいものを念頭に置き、協会員のみならず地域住民を巻き込んだ取組みを本事業で計画した。

事業内容

- 地域情報発信のための観光マップ制作
 - ・来訪者に喜んでいただくため、町内の施設情報等を見て楽しめる『絵てがみ』を用いた絵地図マップとして制作した。
 - ・情報収集、絵地図・絵てがみの作成、編集・校正等を協会員や地域住民と協力して行うことにより、互いの情報交換やコミュニケーションの強化を図った。
 - ・さらに、絵地図マップを施設・町内店舗に配布し、会員同士がマップを配布、紹介し合い、「町内立寄りもう1箇所」運動を展開した。
- 絵地図の掲示板による来訪者への情報発信
 - ・町内の主要な来訪地には観光案内所や案内人等が常設されていないことから、絵地図を拡大した案内板を掲示して来訪者へ情報提供を行った。



【絵てがみサークルの皆さんによる制作風景】

事業効果

- 協会、協会員、地域住民が一体となり、マップの制作段階から携わったことで、新たな素材の発掘や飲食店、小売店、体験施設などの情報共有、連携体制の強化が図られ、更に住民の池田町に対する関心や「観光まちづくり」への意識の向上が図られたことが最大の効果であった。
- 携った人達には「自分達で作ったもの」という意識が芽生え、このマップを積極的に活用するようになり、これまでは自己完結型でそれぞれが活動していた会員が、連携を図り、お互いに情報交換・紹介し合い、町・協会全体を上げて展開すべき「観光まちづくり」「町内立寄りもう1箇所」運動の基盤が構築できた。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 可能な限り多くの協会員・地域住民に関わってもらったため、寄せられた情報の精査や、絵てがみ等の集約に多くの時間と労力を費やした。
- 本事業の具体的な取組みを更に強力に推し進め、着地型観光地を目指した観光の推進に取り組みたい。
- 今後は、本事業で制作した絵手紙マップを主軸に、観光客がマップを片手に町内どこを訪れても、各施設等で満足いただけるおもてなしができる受入体制の構築に取り組みたい。

【選定のポイント】

絵手紙を利用した観光マップは、親しみやすさから観光客等の評価が高く、観光客の回遊性の向上や町内滞在時間の増加につながった。また、住民がマップ制作に関わることで、街の新たな魅力の発見につながった。

団体名 池田町観光協会（池田町）	事業タイプ ソフト事業
連絡先 電話 0261-62-9197	事業費 765,000円
ホームページ http://www.ikeda-kanko.jp/	支援金額 765,000円
メールアドレス info@ikeda-kanko.jp	